

西日暮里・三河島駅前再開発、区民合意を優先して！



三河島駅前再開発



公益施設と住宅整備で来訪者と住民双方の活力を生み出す。8割の地権者から合意を受け、早期の事業家をめす。

過去の再開発と違い、学校跡地など区の土地が多い
西日暮里駅前は来年3月、三河島駅南北地区は来年5月に都市計画決定をしようとしています。西日暮里駅前にしても、三河島駅前は過去の駅前再開発と違い、区の所有する土地は、それぞれ6割、3割もあり、実質、区の事業そのものではないでしようか。貴重な区民の財産を使うわけですから現在、住んでいる区民の声を何よりも大事にすることはあたり前のこ

とです。区議会にもこの間、陳情が50本以上提出されており、賛成、反対の区民の声も様々です。区は準備組合ですすめられているとして、最大地権者である区の責任を曖昧にする態度に終始しています。資金計画なども明らかにしないで区とデベロッパーで進めているのではありませんか。誰のための再開発ですか。区民にもっと情報を開示し、

区民の声を聞くべきです。荒川区のまちづくりの最優先課題は「安全で安心して暮らせるまちづくり」です。今求められているのは、タワーマンションではなく、区民が住み続けられる公的住宅や住み替え住宅、建て替えや耐震化への支援の抜本的な充実です。区民合意がないまま、性急な都市計画決定はしないことを求めます。

【答弁要旨】

これまでの駅前再開発

	総事業費	補助金	補助率	住宅戸数	階数	地区面積	コンサル	建設会社	住宅等の販売
ひぐらし西	94億8400万円	25億6900万円	27%	145戸	25階	0.3ha	日本設計	戸田・西松・長浜	都市再生機構
ひぐらし中央	224億6500万円	59億3600万円	26%	340戸	40階	0.7ha	日本設計	西松・工藤	積水ハウス・旭化成ホームズ
ひぐらし北	153億8500万円	48億2200万円	31%	288戸	33階	0.4ha	日本設計	西松・三芳	旭化成ホームズ・首都圏不燃建築公社
三河島南	140億6900万円	35億4000万円	25%	327戸	34階	0.5ha	日本設計	清水・工藤	旭化成不動産レジデンス・東急不動産
西日暮里駅前	1000億円→850億円?	300億円→250億円?	30%	1000戸	47階	2.3ha	都市設計連合		野村不動産・三菱地所レジデンス

「三河島駅前北地区」再開発！ 11月に行われた荒川区都市計画審議会での参加者からの意見！

- 「誰のためにやるのか、区の住民が住みやすい、区に愛情が持てるように、今の住民あつての荒川区、区民目線を忘れないでほしい」
- 「半径500mだけの住民に限らず説明・意見聴衆が必要だと思う」
- 「南地区の再開発と北地区の再開発は常磐線で分断されていて行き来が不便。このまま開発して街を作っても賑わいはできないのではないか」
- 「真土小跡がふれあい広場になって、子どもたちも走り回れるお年よりも憩いの場になっている。なくされることを危惧している」など多くのご意見が寄せられています。



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員
小林行男
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 796
2020. 12. 13
区議会控室
TEL 3802-4627
FAX 3806-9246
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp
ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/

東尾久相談室
東尾久2-37-3
TEL・FAX
3895-0508

法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所
の弁護士による法律相談会
をおこなっています。
できるだけ事前にご連絡く
ださい。

**1月の相談会は、
1月19日（火）**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談
できますのでお気軽に声をかけてください。

児童養護施設(荒川8丁目)の建設と事業者決定



都用地約800㎡

児童養護施設は…

予期できない災害や事故やさまざまな事情により、家族による養育が困難な2歳からおおむね18歳の子どもの家庭に替わる生活の場です。子どもたちの幸せと健やかな発達保障と自立支援が求められます。

定員 25名

小規模グループケアユニット4室

- ・親子訓練や自立支援機能
- ・ショートステイ室や地域交流室
- ・里親支援事業なども委託する予定

荒川区は、児童相談所設置自治体として児童養護施設の設定についても検討をしてきました。用地は荒川区荒川八丁目の都用地を区が借り上げ無償提供する予定です。

今年3月に事業者選定委員会を設置、4月に公募を実施。6月には一次審査を行い、9月にプレゼンなど二次審査も実施。

応募は、一事業者だけですが、30項目の審査項目で評価し、現在も足立区で運営している「社会福祉法人・友興会」（足立区西新井4丁目）に決定しました。



開設は2023年

4月から

年末は混雑します。粗大ゴミの申込はお早めに！

家庭から出る家具やふとんなど、一辺の大きさが30センチ角以上のものは粗大ごみです。収集は有料で、お申し込みが必要です。

お申し込み方法

申し込み先 [粗大ごみ受付センター]

電話 5 2 9 6 - 7 0 0 0

午前8時より午後7時まで（日曜日を除く）

インターネット申込は24時間OKです。



旧南千住浄水場の取得に当たっては土壌汚染対策も



先週号で都用地・旧南千住浄水場（6丁目）を区が約69億円で取得すると決断をしたことをお知らせしましたが、都の調査では、用地の一部に砒素と六価クロムが含有していることが判明しています。

区としては、東京都と協議し、引き渡しを受けたいので、建物解体と土壌洗浄については、区が行うものの必要経費は、都が負担することになっています。

土壌洗浄だけでも約7,000万円かかる見込みです。区議会としても安全性確保の対策をしっかりと見届ける必要があります。

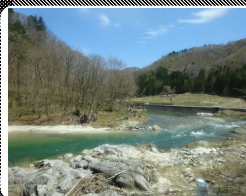
介護施設の職員・利用者のPCR一斉検査

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、荒川区でも、いよいよ、12月から来年3月までに、高齢者が利用する通所・入所などの介護施設の職員と利用者のコロナ感染一斉スクリーニング検査を唾液検査で実施します。

現在、事業所に意向調査をおこない、実施します。

検査を受ける方は、一時間前から水以外、食事をせず、唾液を提供し、それを密封して宅配便で送付します。検査結果は翌日には連絡される予定です。

陽性判定の方は、再度、医師の専門的な検査を受けます。また、陽性者が出た時の対応を事業者のみなさんは、検討が必要です。区として現場の大変さを踏まえ、要望を聞いて必要な支援が欠かせません。



○新型コロナウイルス感染が中国・武漢で確認されてから12月8日で一年になりました。国内で確認された新型コロナウイルス感染者は16万3658人にも上ります。各地で重傷者も増え、医療体制がひっ迫しています。政治が命を守るために全力を尽くさなければならないのに、いまだにGotoは続けられ、医療機関への支援も極めて不十分です。みんなで声を上げよう！

